

Ⅲ. 小名浜港・・・いわき市

錯視アート設置による賑わい創出事業

- ◆実施日時 令和4年3月30日（水）
- ◆実施場所 小名浜港1号ふ頭 いわきら・ら・ミュウ付近
- ◆実施内容

【実施の概要】

小名浜港においては、東日本大震災や新型コロナウイルス感染症の影響等により、震災前の半数程度の観光交流人口にとどまっている。

そこで、小名浜港の賑わい創出を担う団体の一つである「いわき小名浜みなとオアシス連絡協議会（事務局：いわき市工業・港湾課）」が中心となり、集客の起爆剤とするため、錯視アート（トリックアート）を活用したフォトスポットの設置を行った。

図案の作成や位置の選定にあたっては、撮影した写真を見返した際、小名浜港に来たという思い出が想起されるようなアートとなるよう心掛けた。

また、昨年度、小名浜港も舞台となったアニメ映画「フラ・フラダンス」が公開されたことから、スパリゾートハワイアンズを運営している常磐興産㈱のキャラクター「C o C o ネェさん」を起用し、映画の聖地化も目指した。

【設置場所、設置アート】

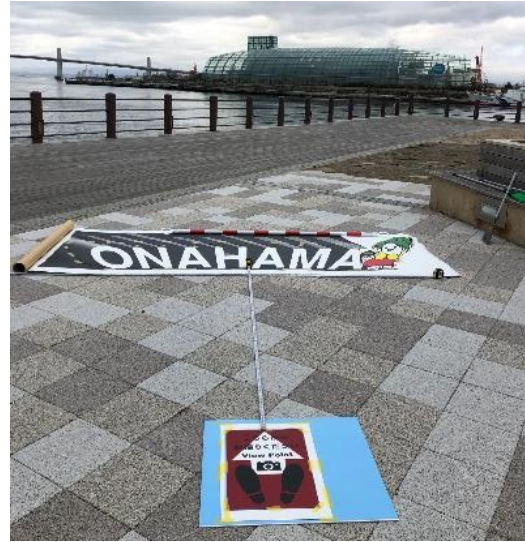
▼小名浜港1号ふ頭 いわき・ら・ら・ミュウ付近



▼設置アートを別の角度から見る



▼現地調査・施工中の様子



【地元の反応等】

市民や官公庁のSNSのほか、地元新聞紙等に投稿・掲載されている。SNSでは、「次
にいわきに行ったら訪れたい」、「思いのほか立体的に撮るのが難しい」といった声があ
り、小名浜港を訪れるきっかけとして、また、小名浜港の楽しみ方のひとつとして機能し
ていると感じている。(公社)日本港湾協会の情報誌「港湾」6月号において、当みなと
オアシスの取組みとして紹介し、全国の港湾関係者にもPRをする予定である。

さらに、いわき小名浜みなとオアシスの基幹施設である「いわき・ら・ら・ミュウ」で
は、トリックアートの写真をSNSに投稿すると、割引が受けられるサービスをしており、
更なる集客への効果が期待される。

【反省点】

小名浜港1号ふ頭内の複数箇所を調査したが、いずれもトリックアートのシート貼付
には向いていない路面であった。今回は、強力な接着剤を用いる等の対応をしたが、今後
同様の事業を実施する場合には、デザインの制作に先立って路面の調査を行い、アートの
大きさ・シートの素材・貼付の方法等について、専門業者の意見を聞くことが必要である
と感じた。

【今後の展望】

今回作成したデータは何度でも利用することができるため、希望する団体等へ積極的
に提供していきたいと考えている。

今後も本アートの積極的な周知活動を展開し、小名浜港、さらには、いわき小名浜みな
とオアシスのより一層の賑わい創出に向けた活動を進めていきたい。